団体名	船橋行田公園走友会		
事業名	第 30 回　船橋行田公園 100 ㎞リレーマラソン大会	種別	Ⅰ型(1 年目)

課題

・行田公園での組織的な活動が少なく、世代間交流も希薄である
・健康のために個人で運動をしている人がいるが、地域全体での活動は少ない
・健常者と障碍者が一緒に活動する場が少ない

事業内容・目的

第 30 回　船橋行田公園 100 ㎞リレーマラソン大会

【目的:世代関係なくランナーが走ることで、地域の共生及び活性化を図る】

☑ いつ？　令和3年 8 月 1 日(日)
☑ どこで？　船橋行田公園
☑ 何を？　10 人 1 チームで、50 キロのリレーマラソン大会
※感染症対策のため距離短縮

☑ 参加者は？　一般ランナー22 チーム
☑ その他
ふなばし夏のボランティア体験事業として、延 70 名の高校生ボランティアが運営協力

事業費(A)	176,218 円
事業収入	0 円

支援金(B)	**33,218 円**
事業費に占める支援率(B/A)	18.9%

事業費内訳(単位:円)

1	走路警備費	17,600	3	スポーツ傷害保険料	37,600
2	運営消耗品費(消毒用品など)	89,246	4	公園使用料	31,772
				1～4　合計(A)	176,218

効果

・老若男女が同じ周回コースでタスキをつなぎ走ることで、地域活性化や世代間交流が促進された
・ボランティア活動に参加した青少年の社会性が向上した
・チーバ君を活用することで、大会参加者以外の公園一般利用者との交流が実現した

工夫したこと

コロナ対策として、通常は 100 周するところを半分の 50 周回にすることで、時間短縮を図り昼食前にレースを終了するとともに、中継地点での密を防ぐために、2 か所に分散して大会を実施しました。

ふなばし夏のボランティア体験事業を通じて学生ボランティアを募集して、多くの学生に参加していただきました。

担当者より

公益活動公募型支援事業として採択されたことで、学生ボランティアの募集に際しても多くの学生の応募をいただくことが出来ました。

この大会の案内にも船橋市公益活動公募型支援事業と記載することで、地域の皆さんにも大会の意義が浸透することができたと思います。

令和 4 年度以降も、行田公園 100 ㌔リレーマラソン大会を継続することで、地域の交流の場として、また世代間の交流にも寄与していきたいと考えています。

大会ボランティアとして参加した学生の皆さん

チーバ君は一般の公園利用者の方にも大人気でした。

大会を盛り上げてくれたチーバ君とランナーとしても走った学生ボランティアの皆さん

団体概要

船橋行田公園走友会は、毎月第 2.3.4 日曜日、朝 8 時から地域の皆さんと一緒にラジオ等を行ったあと、ジョギング、ウォーキングを行い、地域の皆さんの健康づくり活動を行っています。そのあとは走友会メンバーと希望者で行田公園やその他船橋市内外をランニングしているグループです。ラジオ体操等は、どなたでも参加可能ですので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

問合わせ先	氏名: 木下 真一　　e-mail: naorina700@yahoo.co.jp